

登録番号	20123	作品名	尾崎呉服店・尾崎邸
使用製品 (○をつけてください)	ガラスブロック グラソア	ネオパリエ アクラス	ラピエ LXプレミアム ファイアライト その他の製品



ガラスブロックをデザインモチーフに「店舗」と「書斎」が対をなすファサード表現 (左:尾崎呉服店 中央:尾崎邸玄関 右:尾崎邸書斎)



シンボルとして嵌め込んだ新店舗のボリューム表現



住まいの表情を映し出すスクリーンとしての書斎ファサード

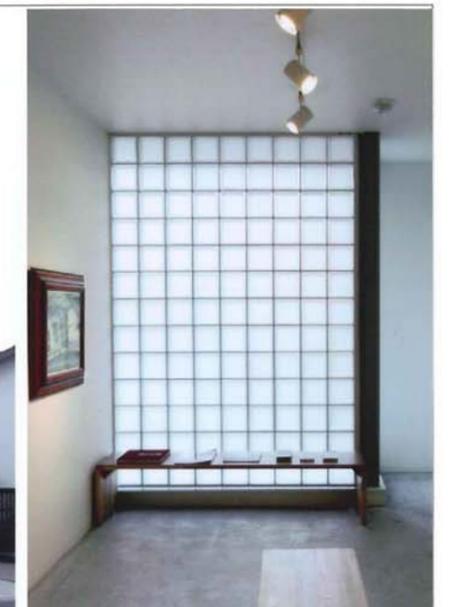
コメント

コンセプト:「対話」による既存建物群の再生と新しい価値の創造

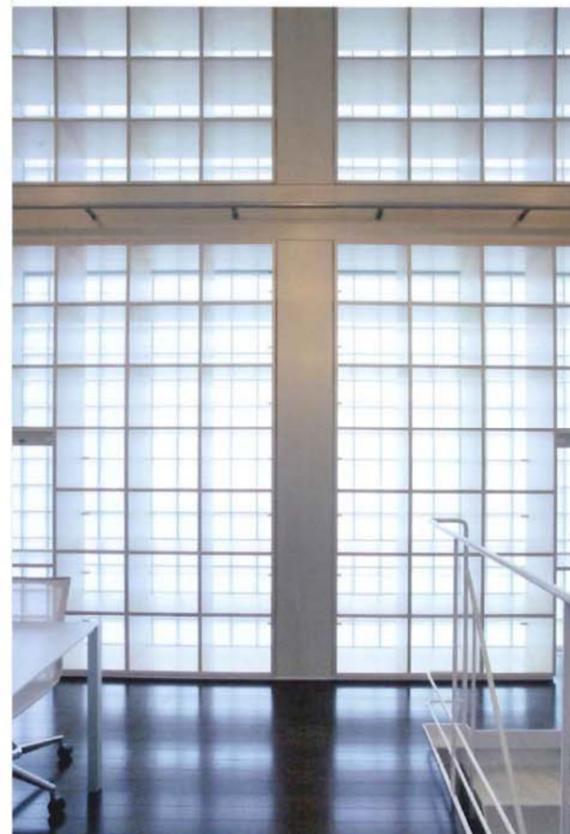
鳥取の旧市街地における既存建物(数寄屋、古民家、土蔵、老舗呉服店…)が集積した敷地で、住宅(1期:尾崎邸)や老舗店舗(2期:尾崎呉服店)の建替えを通じ、敷地環境全体を再生させた計画。外観は、ガラスブロックをデザインモチーフに店舗と住宅書斎が「対」となる一連のファサード表現として地域商店街の活性化の「顔」となることを意図した。



1階呉服店、2階質屋とオフィス、3階 フリースペース(ギャラリー等)で構成された新店舗の外観表現
足元の賑わい、老舗店の確かさ、ガラスブロックのグリッドパターンによるファサード構成



グリッドパターンのあるフリースペース



北面ファサードに和紙調のガラスブロックを採用。表通りの街並みに対しては行燈的な表情を形成。
室内に対しては、柔らかな光が本越しに拡散し、均質な明るい書斎となる。書籍の背表紙がインテリアとなり、その圧倒さが適度な緊張感を創りだす。

